



新しい年を迎え、プライムキッズステーションは開室から6年目の年に入りました。5年前、わずか生徒数6名からスタートしたフラキッズでしたが今では10倍以上になり、常時たくさんのお問い合わせを頂戴しています。これもひとえに皆様方のご支援の賜物と深く感謝申し上げます。今年もまた4月にたくさんのお新入生をお迎えします。今からスタッフ一同楽しみにしております。

「一隅を照らす」・・・決して奢らず、私たちがいまほすべきことを為す。この気持ちを忘れず、スタッフ一同今年も精進してまいります。引き続きよろしくお願ひ申し上げます。  
プライムキッズステーション代表 齋藤 和宏

## ～「9歳の壁」～

「9歳の壁」と言う言葉を聞いたことがあるかと思います。10歳の壁とか小4の壁とか言われることもあります。

いろいろなことに距離をおいた分析が出来るようになり、知的にも成長して自分のことを客観的に捉えられるようになってくる時期。一方、発達の個人差が顕著になってきて、自己肯定感を持ち始める反面、自己に対する肯定的な意識を持たず、劣等感を持ち始める時期を言います。

9～10歳くらいの時期は、子どもの考え方が大きく転換し、抽象的な概念だけでなく他人の目から見た自分の姿も理解をし始める時期と言われています。(逆に言えば、その頃までは自分の姿を客観的に見れていないのでやりたい放題、言いたい放題^^;) 抽象的な考え方が出来るようになるまでの期間は個人によって差があるので、中には自己と他人を比べてしまい、自己肯定感を失ってしまう子どもが出てきます。自己肯定感を失ったままだとその後の成長に大きな影を落としてしまうことになりかねません。自己肯定感が高い人は少々不安なことがあっても前向きな行動を起こすことが出来ますが、逆に低い人は悲観的に物事を考えてしまいリスクを考えて前に進むことが出来ないことがあります。自己肯定感を失ってしまった子どもは「どうせ頑張ったって出来ないんだ」と考えるようになってしまい、次第に挑戦をしないようになってしまう。自分から行動を起こすことがなくなり、指示待ち人間になってしまっていると言われています。

自分たちの子どもがそんな風にならないようどうすればよいのでしょうか。子どもが将来主体性をもって活躍するためには、この時期の自己肯定感がとても大切な要素なのです。自己肯定感を身につけさせるために必要な親の行動は以下の通りです。

- ①子どもの行動を信頼し、行動を見守る。
- ②子どもの行動を途中で遮らず、最後までやらせきる。
- ③子どもの能力や結果を褒めるのではなく、行動を褒める。

子どもが自分の思う通りにならない時に、親はあれこれ口出ししたり叱ったりしがちです。子どもの行動に毎回口を挟み叱っていると、子どもはどんどん挑戦する心を失ってしまいます。身体、勉強、人間関係などあらゆる面で変化を迎える子ども達がのびのび挑戦し成長していくために、親はどーんと構えて見守ってあげましょう！  
(参照、引用：こどもまなびラボ)

## ～今後の予定(ご確認ください!)～

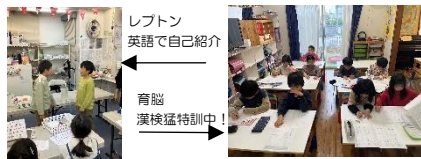
- 1月31日 2024年度利用申込書提出締め切り
- 2月14日～20日 JET(ジュニアイングリッシュテスト)→該当者全員
- 2月17日 漢検(日本漢字能力検定試験)→申込者
- 2月25日 あざみ野南新入生直前説明会
- 3月 3日 中川新入生直前説明会
- 4月 1日 新入生受け入れ開始



## フラタイムギャラリー♪



クリスマス会 & 日々の様子



レフトン  
英語で自己紹介

育脳  
漢検猛特訓中!



お正月

三つお茶会



HAPPY BIRTHDAY!



お誕生日おめでとう!

節分の鬼退治準備

## ～フラタイムキッズからのお願い～

- 急なお休みをされる場合は必ず当日の朝までにご連絡ください。
- 咳、鼻水など風邪症状のあるお子様は引き続きマスク着用をお願いします。
- 習い事や通院などやむを得ぬ場合を除き、お迎えは 17:30 以降をお願いします。
- 中川室は、2024年度の新規入会枠がまだ若干名ございます。お知り合いの方でご検討中の方がいらっしゃいましたら是非ご紹介をお願いいたします。

プライムキッズステーションホームページ  
<http://www.primekids.jp>



○プライムキッズ日常の様子をホームページからご覧いただけます。  
○ホームページから、ガイドブックや各申請書がダウンロードできます。